Tokyo Workers' Alpine Federation

都連盟ニュース

2015年 7月 30日
No.354

神田山の会　大江さん提供

今 月 号 の 目 次

◇ 全国遭難対策研究集会　報告　安全対策推進部 ……P2～3
◇ 普通救命講習会　報告　女性ネットワーク委員会 ……P4
◇ 東日本女性登山交流集会　案内 ……P5
◇ 地区連盟活動報告［多摩東部地区　セルフレスキュー］ ……P6
［みなみ地区　気象学習会］ ……P7
◇ 山岳会紹介［練馬山の会　総会］ ……P8
［大田ハイキングクラブ　蛍鑑賞会］ ……P9
◇ 理事会　報告 ……P10
◇ 事故一報／トピックス（救助＆救助隊を要請したいとき！） ……P11
◇ 都連盟日程 ……P12

東 京 都 勤 労 者 山 岳 連 盟
〒162-0814　東京都新宿区新小川町5番24号
Tel & Fax 03-3260-0372　*E-mail twaf@twaf.jp　URL http://twaf.jp
発行責任者　上平　久治　　編集　陶山　正

連盟費納入振込先
【三菱東京 UFJ 銀行】都立大学支店　店番 111　普通：0280855　口座名：東京都勤労者山岳連盟
【ゆうちょ銀行】00160-6-539150　口座名：東京都勤労者山岳連盟

全国遭難対策研究集会　参加レポート

日時：2015 年 6.27-8

場所：神戸市セミナーハウス

主催：日本勤労者山岳連盟　遭難対策部

参加者：地方連盟および加盟団体の遭難対策担当者

開催目的：近年多発する労山会員の死亡事故を受け、「重大事故をなくす」ための取り組みが行われているが、加盟各団体（各・クラブ）の役員・リーダー層へのより一層の浸透をめざすため、従来の東京開催だけでなく、地方での全国集会を開催し、全国各地の重大事故を防ぐための教訓を直接、加盟団体の役員・リーダー層に伝える機会を作る

文責：芝田

【1 日目】：最近の重大遭難事故に関してのケーススタディーが主な話題でした。

■北海道労山の上ホロカメットク山遭難事故に関する報告。　冬山に於ける死亡事故。リーダーシップ、メンバーシップ、登山の目的事前の準備の重要さについての示唆あり。

積丹岳遭難救助事故裁判については、北海道で道警備隊に当事者として対峙する北海道連盟ならではの、事態の説明があり、従来の断片的な報道から受けていた印象とはかなり実情が違っていたことに驚きました。

■大阪労山からは報告が２つ。

●最初に中級登山学校の事故防止のための取り組みが紹介され、理念として参考になる点も多々あったが、同学校に関わる事故がかなりの数起きていることには（つまり 2008～2015 年の間に 10 件の事故を起こしており、しかもその内 7 件はコーチ又はスタッフの事故）、会場からも疑問の声が上がった。

●２つ目の報告は、2014 年に頻発した重要事故、特に懸垂下降に関連した事故（うち 1 件は死亡事故）の報告と再発防止への取り組みが紹介された。懸垂下降の事故はいずれもかなりの経験のあるクライマーによるもので、改めてクライミング事故の防止の難しさを痛感させた。

■続いて、個々の山行計画についての地区連盟の関わり方について、2 件の報告があった。

●最初の福岡県連盟からは、頻発する重要事故に業を煮やした理事長みずからが、各会に呼びかけて計画書を集め、自ら一枚一枚チェックし、問題ある計画については直接リーダーに連絡をとり確認・指導を行うというもの。当然反発を受けることも多々あったということだが、最初のうちは目を疑うようなレベルの低い計画書が多かったのが、このチェックを続けるうちに計画書の質が向上してきたとのこと。恐らく、本来的には計画書のレベル向上は各会の責任だが、それでは時間かかりすぎると考えた理事長が緊急手段にでたということのようだ。確かに効果的であったようだが、理事長一人に負担がかかりすぎるとも感じた。福岡県連盟は決して小さな所帯ではない。

●次の兵庫県連盟からは、また別のアプローチが報告された。夏山、冬山、春山シーズン前に安全対策委員会が山行計画連絡会を開催､各会からの山行計画を持ち寄り会の遭難対策責任者が計画を発表、出席者全員で計画を共有、意見交換を行うというもの。会の遭難対策責任者を当事者とすることで各会のレベル向上も期待ができ、とても優れた取り組みと感じた。しかも、兵庫県連盟という規模の大きい連盟でこのような取り組みが実際に行われていることに驚いた。

この取り組みを実現するためには、シーズンの主立った計画をかなり早期に提出することが必要で、各会からそのような協力を取り付けていることが凄いと思う。何らか都連盟が参考にできることはないだろうかと思う。

■この後は、もう一つの演題、全国連盟の川嶋事務局長からウェールズにおけるトラッド・クライミング（注：”伝統的な”クライミングという意味。一切の人工物を残さない点に特徴がある。）についての報告があった。

【2 日目】、主に懸垂下降に関連した技術的な報告。
■全国連盟宮崎理事からの、確保や懸垂に関する衝撃や技術等の報告、
■大阪府連盟からの、昨日の報告にもあった懸垂下降の事故に関連しての懸垂研究会の報告など。
■また、プログラム終了後、有志を対象に、議論に上がった懸垂下降の事故事例の実演、バックアップ疑問の実演などが行われた。

クライミング技術については各々の持論があり、意見を統一することは難しいし、主催者事務局も統一しようとは考えていなかった。しかし技術の有効性を巡っては想像通り議論となった。これについては、議論になること自体がさらなる安全確保への一助になる、と前向きに捉えたい。

≪普通救命講習会　報告≫

6 月 27 日（土）午後 1 時より牛込消防署内にて講習会を実施しました。
参加者は 7 団体・16 名（女性：11、男性：5）でした。
応急手当の重要性や目的のレクチャーを受けた後、実際に 4 名が 1 グループになって訓練用の人形を囲み、胸骨圧迫・人工呼吸・ＡＥＤの方法を学びました。
1 分間の胸骨圧迫（心臓マッサージ）訓練では、冷房の利いた部屋でもうっすらと汗をかくほどの運動量です。

（胸骨圧迫）

（ＡＥＤ使用法）

ＡＥＤの使い方も、グループ内で声を掛け合いながら取り組んでいました。
初めて体験する方も何人かいましたが、このような講習は繰り返し受講することで身につくのではないでしょうか。今後も継続して取り組みたいと思います。
　また今回は都連ニュースだけではなく、会員 20 名以下の小規模の会に直接ハガキでご案内させて頂きました。独自で学習会などを開く機会の無い会にも呼びかけていこうとの取り組みでした。
参加者からは、講師もたじたじとなるほどの鋭い質問が出され、真剣な様子でした。

報告：女性ネットワーク委員会　栗野紀子

子供らに残そう豊かな自然　富士山麓の集い

第14回 東日本女性登山交流集会 山梨県富士河口湖町 西湖

2015年10月24日(土)～25日(日)

力強く躍り、鏡のように流れ下る沢
静かな森と花々
はるかな尾根と天空の頂き
　自然のふところに遊ぶことを生きがいとしている私たちは、豊かな自然をとう守り、次の世代につなげていったらよいのでしょうか。富士山麓の静かな湖、西湖（さいこ）でともに考え、交流を深めましょう。

鳳凰三山　南御室手前「焼け跡」より
撮影：藤田勝美（山梨・山の会）

１０月２４日（土）講演会　交流会

レイクホテル西湖　■受付 12：00　■開会 13：00　　講演・夕食・交流会

講演１
「親子三代　アツモリソウを守って」
中村光吉さん
三ッ峠山荘管理人　三ッ峠ネットワーク
日本高山植物保護協会理事

講演２
「南アルプスをリニアが貫くと」
松島信幸さん
日本地質学会名誉会員（理学博士）
「伊那谷自然友の会」主宰

１０月２５日（日）富士山を展望する交流登山　いずれも富士山の大パノラマが楽しめます。

コース１：本栖湖より烏帽子岳経由パノラマ台（1328m　3時間）★　遮るもののない展望
コース２：足和田山三湖台（1202m　3時間４５分）★　富士山はもとより足元に広がる樹海が見事
コース３：王岳（1623m　４時間 15 分）★　青木ヶ原樹海の起源が分かる　鍵掛峠からの縦走が楽しい
コース４：本栖湖より竜ヶ岳（1485m　４時間 15 分）★★ダイヤモンド富士など年越し山行に人気の山
コース５：三ッ峠山（1785m　２時間 40 分）★　富士山北側の優美な姿が裾野から山頂まで見事
自主登山：良いコースを紹介します

●会場　レイクホテル西湖（山梨県南都留郡富士河口湖町西湖 997　℡0555-82-2921）
●交通　JR 中央線大月駅乗り換え＝富士急行線河口湖駅　または高速バス＝シャトルバスで会場へ
　　マイカー　中央道富士五湖線　河口湖 IC 下車 20 分
●参加費：11,000 円●参加募集：150 人　●締切り：９月 15 日
●　申込み先　全国連盟女性委員会
　メール　池原登美子　ikehara.tomiko@taupe.plala.or.jp　FAX　藤元理津子　03-5662-3786
●参加費振込み先　ゆうちょ口座番号　00240-2-23492　加入者名　山梨・山の会
●問い合わせ先　山梨・山の会　川島万里子
　　メール yamariko@eps4.comlink.ne.jp　FAX　0551-48-2390
「主催」日本勤労者山岳連盟　女性委員会　「主管」山梨県勤労者山岳連盟　山梨・山の会

【地区連盟活動　報告】

報告：事務局　萩原

多摩東部地区連盟　セルフレスキュー講習会　2015 年 6 月 21 日

多摩東部地区連盟では救急・搬送の訓練を毎年実施しています。昨年は 3 月に御嶽駅近くの河原の東屋のある所で行って来ましたが、今年は対岸の駐車場の下の東屋のある所に変更しました。前の所は急斜面なのと、落石が起きたこともあったからです。懸垂などで使った通路は傾斜が緩いですが、東屋があることで雨天時にも講習が可能だし、トイレも近いので良い場所だと思います。

訓練は初級を重視して、初級者はロープワークとして結び方と懸垂下降に重点置きました。これは登山道からの転落時に、事故者の状態把握などは自力で行えるようにするためです。

中級者は事故者の引き上げを 1/3 加重などのシルテム作りから引き上げまでを行った。

なお、初級者も引き上げ体験を行い、大変さを身体で知ってもらった。

搬送については特別な装備が要らないザック利用だけ行った。その他、ビバークを想定してツエルト張りも体験してもらった。習っても忘れてしまうので毎年欠かせない行事だ。

講習で救助の大変を知り「事故を起こしてはいけない」と再認識することが目的でもある。

クリーンハイク　奥多摩むかし道　2015 年 6 月 7 日

昨年は東高尾山稜と南高尾山稜を複数のコースから峰ノ薬師に集中する形だったが、今回は初めて単一コースが全部の会が揃って行った。清掃も目的だが連盟内の交流も兼ねたと言って良い。

むかし道は当日も散策する人達が結構いるので、連休明けに他の団体が清掃したとのことだったからゴミは皆無と思っていたが、掃除する目で見るとあるものですね。

このコースはトイレが所々にあるし、昼食を摂る時の広場もあるので、イベントと向きのコースである。所属 6 団体のうち 5 団体 51 人の参加があった。次回は複数のコースから集中するコースに戻した方が良いと考えている。

【地区連盟活動報告】

報告：石川友好

みなみ地区連盟　気象学習会　　2015年6月30日

―普通の悪天での遭難が増えている。危険を予知する力を高めよう―

6/30（火）夜19：00～21：00に労山みなみ地区連盟主催の学習会が、大井町の品川区中小企業センターで開催されました。テーマは、「安全登山のために気象情報をどう活かすか」。講師には気象予報士で品川在住の野尻英一さんをむかえました。野尻さんは若いときから登山に親しみ、豊富な体験をお持ちで、かつて「登山時報」に気象に関する記事を連載していました。参加者はは6会25名（大田山の会3、大田ＨＣ2、めぐろ山学クラブ・仲間9、品川山の会さんかくてん6、山の会・白銀3、大田山友会1、山の仲間「山風」1）でした。

野尻さんは、「最近の天気予報は的中率が高まっているが、気象現象の脅威は変わっていない。台風などのときよりも、普通の悪天時の遭難が増えている。危険を予知する力を、もっと高めよう」と、豊富な事例や自らの体験を交えて、写真をたくさん映しながらお話しいただきました。特に、「平地では近くにある雲しか見えないが、山の上では遠くにある雲を見ることができる。これは、低気圧や前線の接近を自分で見ることができるということで、天気の変化を予測できるということだ」という話は印象的でした。

次に、参加者の感想を紹介します。

「野尻さんのお話は、生々しい体験談に、2時間の学習会があっという間に過ぎてしまいました。旅行会社の気象講座に参加したこともあります。そこで教えてもらえるのは雲の分類という類いの講義です。ところが野尻さんの話は違いました。自分の経験を惜しげなく披露し、実話ですから自ずと引き込まれるのです。教科書的な一般論は一切省略、『夕焼けを見たら一層遠くの雲を見なさい、遠い雲を見れば明日の天気がわかる』「雷のとき東屋は危険だ、木と同じ」・・・ときに実例を挙げつつ、生きた知識をポンポンと投げつけてくるのです。勿体ないような2時間でした」

山岳会　訪問・会活動報告

練馬山の会総会（2015. 6. 28）・見聞

≪練馬区に住むみなさん！　練馬区に働くみなさん！安全に楽しく！　ハイキングからヒマラヤまで！　これが練馬山の会です。そして、何よりも仲間の絆を大切にしてします。
　苦楽をともにする仲間にまさるものはないからです。≫
これは練馬山の会呼びかけ文の抜粋です。とても格調高いと思い、総会に参加してそれが　実践の中に生きていると思いました。

2015 年 6 月までの一年で入会 15 名、高齢や故障で山に行けなくなった退会者 10 名で会員 77 名、会友 9 名の大所帯です。年間３５１件の山行が実施されています。
　運営委員会のもとに、事務局と専門部と推進グループがあり、人が重なり合いながらもそれぞれの部門にたくさんの方が参加しています。特に専門部のリーダー部では、山行管理メンバーが 17 名、下山連絡確認メンバーが 11 名もいて人材の豊富さが感じられました。
　特徴のその①、新人をいつでも受け入れ 2 年間の教育期間として「たんぽぽ」クラブを作り育てていることです。
担当先輩を習い同期の仲間同士も連絡取り合って、目標の無雪期アルプス縦走の力を付けていくとのこと。問題点はほかの先輩たちとの交流が少ないこと。これは若い現役世代の仕事のきつさ・休暇の在り方も大いに関係ありそうでした。
　特徴その②、登山の推進グループはこの会の経験、年齢、ジャンルの豊富さがよくわかりました。「ぐるっぺ山脈」はハイキングから夏のテント泊まで企画を持ち寄って行きます。
「アルペンブルーメ」はグループ山行にとどまらず多彩な個人山行の展開が方針で、縦走・雪山・登攀・アイスクライムなど年間 83 通りの山行が実施されたようです。ネットで連絡しあうのが主流だが、ミーティングで顔を合わせてどんなふうに登りたいのか仲間と丁寧に話し合いたいとありました。
「YS93」は山スキーでした。１２月から５月まで旺盛な滑りは、地区連やスキー協との連携もあるようです。「沢人」は沢の愛好者による活動、「ブッシュ」という藪山愛好家の集まりもあるようです。
　特徴その③、勤労者の山岳会の使命を自覚し、困難がある中でも公開山行を行い区の練馬まつりに参画していることでした。『役員は短期間で交代、みんなで担う』もモットーのようで役員選出には逸話がいっぱい、会員からの提案もたくさん出ていました。また練馬山の会の歌というものがあり最後に歌ってくれました。
　歴史が長い会だけに、いろんな人材がそろっているという感じで、二次会に参加させてもらって、さらにその感を強くしました。都連名としても頼りにしています！といいたいです。

（報告　理事　岸田まさ子）

山岳会　会活動報告

【大田ハイキングクラブ】　横浜でホタルを見た！　　報告：石川友好

横浜市の南部､鎌倉市との境目には広く深い里山と森が広がり､その中を横浜横須賀道路(高速道路）が貫いている。しかし、部分的に「瀬上市民の森」とか「横浜自然観察の森」などの名がついていても、全体を指す名前がない。そのせいか、この森の知名度は低い。そして、ここにホタルが生息している。

大田ハイキングクラブでは、7 月 4 日（土）夜に、そのホタルを見に行くハイキングを行った。参加者は小学生 1 人も含めて 10 名だった。スタートは京浜東北・根岸線の港南台駅。ここに夕方 5 時集合。あいにく、梅雨の雨がしとしとと降り続いている。

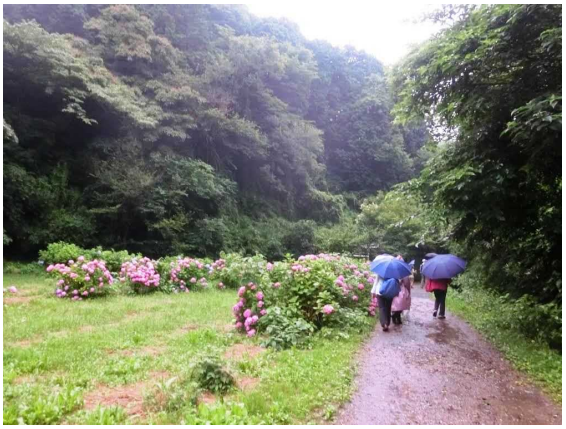
傘を広げて駅から少し歩くと、まずは「瀬上市民の森」だ。谷間に入ると川が流れ、うっそうとした森にかこまれた。急に人の気配がなくなる。あいにく、梅雨の長雨で足元はぬかるみの連続だ。ここもホタルの生息地だが、我々はさらに進む。

急な階段をふうふういいながら登って尾根筋の道にでる。そろそろ暗くなってきた。右手に霧のただよう深い谷を眺め、角を曲がると突然、住宅団地の一角に出た。この落差には、いつも驚かされる。ここの休憩所で、食事をとった。

稜線の道から、今度は反対側の高速道路に向かって下った。そして、高速道路にそってしばらく進み、右手に深い谷間が現れた。ここが「しだの谷」だ。長い階段を下ると、闇の中に点々と青白い光がイルミネーションのように点滅している。平家ホタルだ。「みんなが光を消すと草むらに光があった。実に小さいながらも確実な光であって例えて言えば白色 LED のような光であった。目が慣れてくるとあちこちに光がある。もちろん見えるのは点滅する白色光だけでホタルの本体は全く見えない。しかしその光が動く。空中に舞う。マジックのようだ」（参加者の感想より）。

さらにすすむと、小川のほとりの平家ホタル生息地だ。ここは普段、ホタル見物の人がいるのだが、今日は雨のせいか誰もいない。我々だけで独り占めだ。小川にそってたくさんのホタルが点滅している。道の上にもほのかな明かりが…。舞い上がったホタルは、ウチワがあれば上にとまりそうだ。このあとは、すぐに舗装道に出て、氷取沢（ひとりざわ）バス停に午後 9 時 10 分到着した。

〔瀬上市民の森を行く〕



〔しだの谷(昼間撮影)〕

第４回都連盟理事会報告

日時：　2015 年 7 月 6 日　　全国連盟１階会議室　　司会：岸田　　記録：脇坂

Ⅰ. 出席者：鵜沢、臼井、大野、上平、岸田、木立、栗原、中川、佐々木、佐藤、芝田、松野、吉田、脇坂

Ⅱ. 議　事

１.【三役会議報告】

(1)一般向け岩登り講習会の提案があったが、登山学校が終了したばかりで開催に異論が出た。

２.【各部門報告】

①. 事務局

(1)会計報告：連盟費納入状の報告　(2)名簿整理:修正後に事務局より理事メールで送信する。

(3)名刺作成：未作成。担当の陶山さんが本日は病欠。

(4)7/27 代表者会議：各部会は、代表者会議の報告書類を 7/11 頃目途に理事会メール宛て提出

②. 組織部

(1)「山の歌」集会：事前に会場周りの民家に手土産持参で挨拶をする。

(2)理事会交流山行:9/12～13 巻機山。宿泊は民宿「雲天」を計画中。

③. 安全対策推進部

(1)11/15 安全対策会議:アルテリア宮崎さんは出張の為欠席。

(2)石神井山の会へ、全国遭難対策研究集会（6/27）で発表した遭難報告を依頼する。

(3) 事故報告は、都連盟を通したものを参加者へ伝えてほしい（６月鳩ノ巣机上講習の件)

④. 教育部　(1)冬の天気についての勉強会を秋に計画する。担当：佐藤副理事長

３.【委員会報告】

(1)自然保護委員会：6/7 クリーンハイク報告　会合は、クリーンハイク前に３回、反省会を１回実施。

(2)10/31 全国自然保護担当者会議が予定されている。

(3)教育委員会: 2015 年度ハイキングリーダー教室（２０名)，岩登り初級教室（１８名）共に無事終了

(4)東京救助隊

1)事故発生時の連絡順位の確認。次号の都連盟ニュースとホームページに掲載する。

①警察、②所属会、③所属会から救助隊(理事長判断で出動)

2)救助隊名簿回覧

(4)女性ネットワーク委員会　6/27 救命講習参加は７団体１６名。会員２０名以下の会へ連絡した。

(5)震災復興委員会

1)11/7～10 石巻水沼祭り参加予定。 2)福島の子供たちへの寄付を会議前に呼び掛けた。

４.【地区連盟報告】

総会報告：1)「杉並山の会」上平　2)「練馬山の会〕佐々木、岸田　3)「荒川山の会」上平

4)「神田山の会」岸田　簡単な報告を都連盟ニュースに掲載する。

５.【審議・提案】

(1)関東ブロック参加者(9/5～6)：佐々木会長。佐藤副理事長、栗原事務局長。参加者募集中

6.【全国連盟報告】

(1)全国遭難対策研究集会の報告書は７月度理事会レジメへ添付 (2)懸垂下降の事故対策について

(3)滝谷の死亡事故：普段は徒渉時の水位は、足首位の水かさだが、増水して８０cm になっていた。

スリングを連結して確保し無理に徒渉した結果３人死亡。水が引くまで待つべきであった。

【第一回代表者会議】　・7/27（月）19:00～21:00、飯田橋･連盟会議室

【次回理事会予定】　・8/3(月)19:00～21:00、飯田橋･連盟会議室

【事故一報】6 月・7 月の　二ヶ月分なのだが事故が多く！　各会注意喚起を！

6 月 7 日　尾瀬　片品川　羽根沢大薙沢にてトラバース途中足を滑らせ 5m下の倒木に滑落、さらに下のテラスへ 5m滑落。肋骨骨折、肺挫傷、打撲　44 歳　女性

6 月 11 日　奥秩父　瑞牆山　三之谷エリアをボルダー中、足を滑らせてマットのないところに落下、着地時足を強打。左踵打撲、炎症　42 歳　女性

6 月 20 日　会越（西会津・越後）室谷川・大蔵久沢・駒形山　大蔵久沢入渓後河原にて苔付き石で足を滑らせ転倒。左肩脱臼、肩腱板断裂　54 歳　女性

6 月 20 日　谷川岳　一ノ倉沢衝立岩中央稜　取り付き部でスリップ転倒。左手人差し指第二関節脱臼皮膚裂傷　66 歳　男性

6 月 24 日　奥武蔵　日和田山　男岩西面登攀中、3 本目のランニングにクリップ中に手足を滑らせ 3m落下、足から着地時、左足強打。　踵骨折　61 歳　男性

6 月 26 日　赤城山　地蔵岳　下山途中　木の階段や木道で、斜めの板で滑り転倒。右手を突く　右手　橈骨遠位端骨折　66 歳　男性

7 月 5 日　日光　白根山　頂上より 1 時間下山時　階段状の石につまずき転倒。左肩骨折　70 歳　男性

7 月 12 日　高尾山　草戸山　急な下り坂で滑って転倒、左手を突く。左手親指・小指骨折　74 歳　女性

7 月 13 日　上越　苗場山　7 合目半の所で突然四肢痙攣を起こす。熱中症による筋肉へのダメージ、四肢の痙攣、腎機能の低下　56 歳　女性

7 月 19 日　室内壁　クライミングジムにおいて転落。入院中（詳細不明）　53 歳　男性

7 月 21 日　北アルプス　蓮華岳北葛岳間の七倉乗越、上部の下りでストックを突いて飛び降りた弾みでバランスを崩し 15m～20m滑落。　胸骨・腰椎骨折、左足関節粉砕骨折、打撲　73 歳　女性

事故一報は、全国連盟への提出と併せて東京都連盟にもお願いいたします。

郵送：〒162-0814　東京都新宿区新小川町 5 番 24 号　FAX：03-3260-0372　E-mail：twaf@twaf.jp

★ トピックス

事故が起きたとき救援依頼（自力下山が困難）

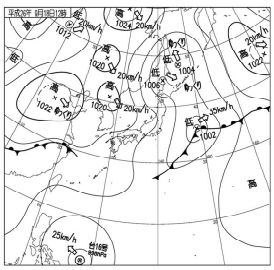
① 地元警察に救助要請
② 所属山岳会に連絡
③ 都連盟救助隊に要請したいとき
　理事長へ連絡、判断（現：上平）→　都連救助隊へ要請

女性ネットです

11月のスケッチハイクの計画をしています。

「スケッチハイク・ON景信山」

11月28日（土曜日）今年は景信山にてやります。　技法・用具・紙の大きさにはこだわりません。
山に登って少しゆっくり、感じたままを絵に表現してみましょう。
描きたい人集まれー！　　詳細は次号で知らせます。　　女性ネット委員会主催



「予告」　日程訂正　**都連盟教育部主催**

冬の気象を学ぶ講習会

「人の心と秋の空」季節の変わり目で変わりやすい天気を読み解いて、気象遭難を無くしましょう。
労山会員で気象予報士でもある会員の講習会を　11月～12月に行います。
楽しみにして下さい、詳細は来月号に掲載致します。

大震災支援関係

● 都連盟が行っている東日本大震災支援活動募金　/　ネパール大震災支援

① 都連盟が行っている復興支援活動のための活動募金も行っていますので、ワンコイン募金など引き続き支援を呼びかけて下さい。

② ネパール大震災支援募金も始めました。併せてお願いします。

２０１５年８月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	土	
2	日	
3	月	理事会
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	「山の日」2016年より祝日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	全国自然保護講座（岩手石巻）
23	日	全国自然保護講座（岩手石巻）
24	月	山のうた集会／救助隊定例会
25	火	
26	水	
27	木	三役会議／都連盟ニュース印刷発行
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

２０１５年９月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	理事会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	全国ハイキングリーダー学校（兵庫県神戸市）
13	日	全国ハイキングリーダー学校（兵庫県神戸市）
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	三役会議／都連盟ニュース印刷発行
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	救助隊定例会
29	火	
30	水	

２０１５年１０月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	理事会
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	全国自然保護担当者会議（滋賀）
18	日	全国自然保護担当者会議（滋賀）
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	東日本女性登山集会（山梨県・富士河口湖町　西湖）
25	日	東日本女性登山集会（山梨県・富士河口湖町　西湖）
26	月	救助隊定例会
27	火	
28	水	
29	木	三役会議／都連盟ニュース印刷発行
30	金	
31	土	

２０１５年１１月　予定表

		理事会･部会･委員会
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	東日本大震災復興支援　石巻
8	日	東日本大震災復興支援　石巻
9	月	理事会
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	都連盟遭難対策研究集会
16	月	「山の道具」講演
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	三役会議／都連盟ニュース印刷発行
27	金	
28	土	スケッチハイク（景信山）　女性ネットワーク
29	日	
30	月	救助隊定例会

【編集後記】

梅雨明けから毎日暑い日が続く、暑さに極端に弱い私だが、ヒートアイランドの東京を離れ、川辺の小さな山小屋へ避難したいのだが・・・・

雑多な用事（ニュースの編集等）を抱え、思うようにいかぬ、みなさん熱中症対策を行っていますか、山に行くときは構えて備えますが、日常生活の時は意外と油断してしまいます。夜寝ていても熱中症にかかるような気がします、暑さで目がさめる→寝不足になる→体がだるい→意識がボーとする→事故！。悪循環だ！　こんな時は何もしないで涼しい所に避難だと自分に言い聞かせている。山ヤはやっぱり涼しい標高の高い山に行くに限る。８月には宮尾登美子さん著の「天涯の花」の舞台、四国の剣山にキレンゲショウマを見に行く。

平和と登山について、皆さん「教えて！ヒゲの隊長」という動画サイトご存じですか、そのパロディで「教えてあげる！ヒゲの隊長」が面白いです。　　T・S